

## 地域共生社会の実現に向けた福祉医療実践 ⑨

# 『済生会前橋病院の地域共生社会の実現に向けた福祉医療実践』

群馬県済生会常務理事 兼 前橋病院管理局長 吉田 誠

## 1 病院の概要

所在地 群馬県前橋市上新田町564-1  
設置主体 社会福祉法人恩賜財団済生会支部  
群馬県済生会  
病床数 323床（一般287床、HCU14床、  
緩和ケア16床、人間ドック6床）  
診療科目 内科、血液内科、腎臓リウマチ内科、  
人工透析内科、内分泌・糖尿病内科、  
呼吸器内科、消化器内科、肝臓内科、  
循環器内科、心臓内科、血管内科、  
小児科、外科、胃腸外科、大腸・肛  
門外科、肝臓・胆のう・膵臓外科、  
乳腺外科、呼吸器外科、整形外科、  
リハビリテーション科、心臓血管外  
科、泌尿器科、眼科、放射線科、麻  
酔科、ペインクリニック内科、ペイ  
ンクリニック外科、病理診断科、緩  
和ケア内科  
関連施設 介護老人保健施設あずま荘、居宅介  
護支援事業所あずま荘、病児・病後  
児保育施設おひさまの家、院内保育  
施設なでしこ保育園

## 2 理念・基本方針

### 《理念》

済生の心とともに質の高い医療を提供し、地  
域社会に貢献します。

### 《基本方針》

#### 高度専門医療

患者さんの権利と意思を尊重し、安全で高度  
な先進医療を提供します。

#### 救急医療

24時間断らない医療を行い、急性期病院と  
しての役割を担います。

#### 地域連携

地域の医療機関との連携を推進し、中核病院  
としての機能を果たします。

#### 人材育成

確かな技術と共感の心を習得し、誇りと責任  
感を持つ医療人を育てます。

#### 健康経営

全職員が心身ともに明るく希望を持って働け  
る職場環境作りを行います。

### 3 当院の相談体制

当院では患者サポートセンターの中に入退院支援センター、地域連携課及び医療福祉相談課の3所属が位置づけられ、相互に協力しながら相談体制を築いています。医療福祉相談課はこれの中で、医療福祉相談や入退院支援を受け持つとともに、後述する生活困窮者支援事業「なでしこプラン」や無料低額診療事業などの社会福祉事業に取り組んでいます。

医療福祉相談課には現在8人のMSWが在籍して医療福祉相談、がん相談、なんでも福祉相談など患者・家族に対する様々な相談受付機能を受けもつとともに、各病棟に担当MSWと入退院支援センター看護師を配置して、入院患者の各種相談や入退院支援等の業務にあたっています。



なんでも福祉相談ののぼり

### 4 当院の「なでしこプラン」

#### (1) 更生保護施設入所者等支援事業

当院は利根川の西岸地区に位置しますが、利根川をはさんで東岸に前橋刑務所があります。

前橋刑務所等を出所された方で更生保護施設に入所されている方を対象に、就職のために必要な健康診断やインフルエンザ予防接種を行っています。

#### (2) ホームレス等生活困窮者支援事業

前橋市と協働して市内に居住実態のあるホームレスを訪問し、困りごと相談や受診案内を行っています。また、救急車等で運ばれた後、自宅に帰る交通費の現預金がない方を対象にバス代等を支援するワンコイン事業や、入院生活に必要なタオル、衣類などを洗濯つきでレンタルするサービスに必要な現預金のない方を対象に無償で提供する緊急入院時日用品支給事業を行っています。

#### (3) 障がい者等支援事業

県内障がい者団体が主催するバスツアーに看護師を同行させています。また、身体障がい者福祉団体連合会から依頼され、会員向けに定期的に発行される冊子に健康に役立つ記事を掲載して頂いています。

#### (4) 外国人健診支援

外国人の健康診断・医療相談に取り組んでいる団体と協働して、外国人の健康増進を支援しています。新型コロナウイルス感染症の影響を受けて一時休止していましたが、本年度から再開しました。

#### (5) フードドライブ

群馬県支部の職員で定期的にフードドライブを行い、集まった食料品等を「まえばしフードバンク事業」に提供することで、生活困窮世帯への食糧支援を行っています。



フードドライブ

## (6) シングルマザー支援事業

令和5年度から新規に始めた事業で、母子生活支援施設に入所されている親子を対象に生理用品や管理栄養士による栄養情報を提供しています。

## (7) 子どもの仕事への興味促進

市内の生活保護世帯を含む小学生を対象に、看護や介護等の職業体験を提供する事業です。新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、ここ4年休止しています。

## (8) 群馬県ふくし総合相談支援事業

県内社会福祉法人による地域貢献事業で、県社会福祉協議会が企画・実施しています。どこに相談したらよいかわからないといった地域の方の生活や福祉に関する困りごとを「なんでも福祉相談員」が受け止めます。当院もこの事業に参加して、病院の窓口や大型店舗施設での臨時窓口で相談に応じています。

## 5 今後目指す福祉医療実践の方向性

2023年12月時点での生活保護受給世帯は全国で165万3778世帯と、前年同月と比べておよ

そ7092世帯増加しています。特に単身の高齢者世帯が多く、84万1307世帯と全体の51.1%を占めています。

こうした社会経済情勢を反映して、今後も無料低額診療事業対象者の増加とキーパーソンがいない高齢者の増加が見込まれます。当院としては、無料低額診療事業を必要とする方々に漏れがないよう、しっかり事業のPRを行うとともに個別の患者さんに丁寧な相談対応を心がけて参ります。また、ご家族等との関係が希薄になっている患者さんに対しては、行政や他の社会福祉法人・機関と連携・協力して、できる限り患者さんの希望に沿うような居場所を一緒に見つけていきたいと考えています。

他の社会福祉法人と連携して、今年からこども食堂への支援を始める予定です。様々な支援に取り組むことで地域の課題が見つかり、解決に向けた取り組み求められます。済生会本部が掲げるソーシャルインクルージョンの実現に向けて、当院も一步一步取り組みを進めて参ります。



済生会前橋病院